

■米国：民主党、党大会でエネルギー政策を含む政策綱領を発表

民主党は2012年9月3日から6日にかけてノースカロライナ州シャーロットで開催された民主党大会において、エネルギー政策を含む政策綱領を発表した。同綱領は「米国を前進させる」と題され民主党の政策方針を示したもので、エネルギー分野についてはオバマ政権のあらゆるエネルギーを追求する政策（All-of the-Above Energy Policy）を進め、今後、更なるエネルギー効率改善により石油依存度を低減し、天然ガス資源を安全かつ信頼できる方法で開発・利用するとした。また、過去4年間において22万5千人のクリーンエネルギー関連雇用が創出され、風力や太陽光・熱による電力量が2倍に増加し、石油輸入依存度が過去16年で最低となるなど、現政権のエネルギー政策の実績を強調している。なお、共和党のエネルギー政策については、中間層からの税金で石油産業を肥大化させる政策であると批判し、民主党は石油産業への優遇税制を廃止し、クリーンエネルギーの雇用を拡大させ、財政赤字削減と成長を達成するとしている。